

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門共通	M204	1年	後期	看護学	選択	理論と看護実践論	30	2	
						Nursing Theory and Practice			
担当教員									
中西 純子		中平 洋子							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
☐									
☐									
☐									
☐									
☐									
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
☐	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
☐	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
☐	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
☐									
☐									
☐									
☐									
授業目的									
看護理論とは何かの基盤的理解や歴史的経緯を理解し、改めて看護とは何かを考える機会とするとともに、理論を活用して現象を読み解く力を身に付ける。									
到達目標（授業目標）									
①看護学・看護科学の発展の歴史について説明できる。									
②看護理論の定義・分類について説明できる。									
③理論を評価する枠組み・視点について説明できる。									
④看護において倫理・ケアリングがどのような位置づけにあるか説明することができる。									
⑤理論の学び方がわかる。									
⑥看護理論を活用し事例の捉え直しができる。									
⑦理論を活用する意義と活用による効果を説明できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンス＆理論・看護理論への理解（1） 看護学・看護科学の発展についてテキスト第1章及びオリジナル資料を用いて講義する(中西)								
2回	理論・看護理論への理解（2） 看護の歴史についてテキスト第4章及びオリジナル資料を用いて講義する（中西）								
3回	理論・看護理論への理解（3） 看護理論（第2章），理論の評価と理論開発（第3章）について学生が分担しプレゼンテーションを行う（中西・中平）								
4回	理論・看護理論への理解（4） 看護理論と倫理（第5章），ケアリング（第6章）について学生が分担しプレゼンテーションを行う（中西・中平）								

5回	看護理論の理解深化（１） 主要な看護理論について概説する。（中平）									
6回	看護理論の理解深化（２） 主要な看護理論について概説する。（中平）									
7回	看護理論の理解深化（３） 学生は看護理論を１つ選定し理論家の背景、影響を受けた人物や考え、理論の前提、内容、特徴等について理解し、プレゼンテーションを行う（中西・中平）									
8回	看護理論の理解深化（４） 学生は看護理論を１つ選定し理論家の背景、影響を受けた人物や考え、理論の前提、内容、特徴等について理解し、プレゼンテーションを行う（中西・中平）									
9回	看護理論の理解深化（５） 指定文献の精読を通じて理論の構造と開発に関わる理解を深める（学生プレゼンテーション）（中西・中平）									
10回	看護理論の理解深化（６） 指定文献講読を通じて理論の構造と開発に関わる理解を深める（学生プレゼンテーション）（中西・中平）									
11回	看護理論の活用（１） 学生が個々に選定した看護理論を用い、事例分析した結果をプレゼンテーションする（中西・中平）									
12回	看護理論の活用（２） 学生が個々に選定した看護理論を用い、事例分析した結果をプレゼンテーションする（中西・中平）									
13回	看護理論の活用（３） 学生が個々に選定した看護理論を用い、事例分析した結果をプレゼンテーションする（中西・中平）									
14回	看護理論の発展と課題（１） 理論にもとづく実践や研究について理解を深める（フリーディスカッション）（中西・中平）									
15回	看護理論の発展と課題（２） 看護理論の発展と課題についてまとめる（中西・中平）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
4回のプレゼンテーションの内容80％（各20%）及びディスカッションの内容（20%）を授業目標の視点で評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書	筒井真優美編（2020）：看護理論家の業績と理論評価 第2版, 医学書院									
参考図書等	Chinn PL & Kramer MK (2018). Knowledge Development in Nursing: Theory and Process, 11th ed. Elsevier. Afaf Ibrahim Meleis(2018): Theoretical Nursing：Development and Progress, 11th ed. Wolters Kluwer.									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
第3・4回及び第9・10回に指定文献の担当箇所についてプレゼンできるように準備を行う。										
第7・8回及び第11～13回は、各人が選んだ理論の紹介と事例分析をプレゼンできるように準備を行う。										
プレゼン資料は前日までに授業参加者に配布しておく。										
関連科目										
前科目										
後科目		専門科目すべて								
実務家教員										
看護師（医療機関）	中西純子									
保健師（行政機関）	中平洋子									

備考						